

(案)

資料3

未定稿

『Yamagata 幸せデジタル化構想』に向けた提案

※ 第2回会議資料後の変更箇所は黄色囲み

「Yamagata 幸せデジタル化」有識者会議

『Yamagata 幸せデジタル化構想』の基本的な考え方 (案)

最新のデジタル技術の活用促進を進めるとともに、既に広く普及しているデジタル技術を社会に浸透させることにより、県民の皆様が幸せに暮らせる社会の構築を目指すべきと考えます。これに向け、以下の基本理念を提案します。

(1) 幸せデジタル化の理念

- 子どもから高齢者まで、誰もがデジタル化の恩恵を受けられる、県民の『幸せ』を中心に据えたデジタル化
 - ※ デジタル技術が苦手な人でも、周りの人同士で支え合いデジタルデバイドをつくらず、誰一人取り残さない(Leave No One Behind)包摂的な社会づくり
- 国内外の最新の動きを常に取り込むとともに、最先端の技術開発に取り組み、デジタル技術の強みを伸ばせる社会・ビジネス環境の整備
- 高度なデジタル技術が発達していない段階にあっても、まずは既にある技術・ツールを活用しながら、実現すべき目標を達成すること
- 「アナログ」と「デジタル」、「リアル」と「バーチャル」のそれぞれの良さを柔軟に組み合わせながら県民の幸せを最大化すること

『Yamagata 幸せデジタル化構想』の基本的な考え方 (案)

(2) 幸せデジタル化に向けたアクションの方向性

- 「県・市町村」、「暮らし」、「仕事」、「余暇」の4分野を通じて、国内外の知見を大胆に取り入れること
具体的には、防災、環境、子育て、福祉、産業、観光、農林水産、建設、教育など、あらゆる分野において、既にあるデジタル技術や高度な技術開発に努め、県内に広く浸透させること 【各分野のデジタル化】
- 社会が大都市一極集中から、ハイパーコネクト※1 へと移行しつつある中で、リモートワークやワーケーションなどを含め、働き方・暮らし方を大胆に見直し、その環境を整備すること 【デジタル化の時代における地域づくり・生き方】
- 人材の育成や県内外のフリーランス人材・副業人材の活躍により、県全体のDX※2（デジタル・トランスフォーメーション）を促進すること 【デジタル化を活用した人材戦略】
- 市町村や他地域とも連携しながら、本県の魅力溢れる自然、文化、芸術、歴史等の地域資源を県内外、国内外に発信 【デジタル化による地域資源の活用】

※1 ハイパーコネクト：オンライン等で人・情報・お金が常に繋がり、容易にやり取りできる状態

※2 DX(デジタル・トランスフォーメーション)：高速のインターネットや人口知能(AI)などのITによってビジネスや生活の質を高めていくこと

『Yamagata 幸せデジタル化構想』の4本柱

県・市町村

- ①「新・電子県庁」構想
 - ✓ 職員のテレワーク促進
 - ✓ 電子決裁の推進
(決裁文書の電子的管理)
 - ✓ オンライン会議・研修の一層の利活用推進
 - ✓ 県の施策を動画で分かりやすくネット配信
- ②市町村のデジタル化
 - ✓ 市町村の効率化支援
 - ✓ オンラインで県と市町村を繋ぎ、重要施策の情報共有や意見交換
 - ✓ デジタル化の課題を共有し、課題解決にむけて研修等の実施
- ③教育・研究のデジタル化
 - ✓ デジタルを活用した質の高い教育・研究の推進

暮らし

- ①子どもから高齢者までデジタルの利便性を享受
 - ✓ デジタル活用でより良い医療・福祉の体制構築
 - ✓ 交通事故防止に向けたデジタル技術の活用
 - ✓ 災害時にドローン等を活用して、迅速な現場確認
 - ✓ 地域の買い物支援
 - ✓ 地域公共交通の利便性向上(路線バス等へICカード導入)
- ②地域の魅力と交流人口の拡大
 - ✓ ネット環境の強化によるテレワーク環境整備
 - ✓ ワークেশョン等の展開
 - ✓ 県外転出者を対象とする関係人口の拡大

仕事

- ①経営・生産の効率化
 - ✓ 衛星データ、ドローン等による農地・林地管理
- ②「攻めのデジタル化」による売上UPとブランド強化
 - ✓ 先端産業分野におけるデジタルを活用した新製品の開発促進
- ③観光産業の振興
 - ✓ デジタルマーケティング
- ④デジタル人材の育成活用
 - ✓ フリーランス人材の活用

余暇

- 新たな生き方・楽しみの創出
 - ✓ デジタル化による新たな楽しみの創出・感動の共有

『Yamagata 幸せデジタル化構想』

<調整中>

県・市町村

①「新・電子県庁」構想

従来の仕事の進め方・働き方の枠組みにとらわれることなく、デジタル技術を活用した業務スタイルを確立し、県民サービスの向上と行政事務の効率化を実現

<県民サービス向上>

- ✓ 行政手続のオンライン化推進
- ✓ 行政保有の統計情報等のオープンデータ化推進
- ✓ 県の施策をYouTube動画等で分かりやすく配信
(効率的な行政情報の発信と施策立案のための情報収集)

<行政事務の効率化>

- ✓ 職員のテレワーク促進(R2~)
(年度内にモバイルPC600台導入等)
- ✓ 電子決裁の推進 (決裁文書の電子的管理)
- ✓ オンライン会議・研修の一層の利活用推進
- ✓ タブレット端末などの機器やアプリの業務活用推進
- ✓ ペーパーレス化等による業務の効率化推進



<テレワーク促進>
〔モバイルワーク等の拡大・
在宅勤務環境整備事業〕



<オンライン会議の利活用>
〔県庁における
職場環境の
オンライン化推進事業〕

『Yamagata 幸せデジタル化構想』

<調整中>

県・市町村

②市町村のデジタル化

行政手続、子育て・福祉・介護、地域振興、防災など、県と市町村の連携がこれまで以上に求められることから、情報共有・意見交換をより一層推進し、迅速かつ柔軟に連携

✓ 市町村の効率化の支援
(行政手続のオンライン化等の共同運用、共同化の推進)

✓ 主要事業の予算説明会のオンライン開催

✓ オンラインで県と市町村を繋ぎ、
重要施策の情報共有や意見交換
(防災、住民サポート等についてオンライン会議やウェビナーを実施)



<オンライン申請の推進>
「やまがたe申請」
県・市町村の共同運営システム

『Yamagata 幸せデジタル化構想』

<調整中>

県・市町村

②市町村のデジタル化（続き）

- ✓ 県と市町村でデジタル化の課題を共有し、課題解決に向けて研修等の実施
(「山形デジタル道場」等の開催)
- ✓ 先進的なデジタル化の取り組みを行いたい自治体や基本的なデジタル化に取り組みたい自治体それぞれに合わせた支援の実施
- ✓ デジタル化の優良事例の共有・横展開

<県内市町村の取組みの例>

- ・ LINEを活用した住民への情報発信
- ・ 自治体DXに向けた組織の立上げ、外部人材活用
- ・ 新型コロナ対応時のオンライン授業等の導入 等



<自治体ICT推進協議会の研修>
県と市町村の連携のもと、
デジタル化推進に向けた
人材育成、課題・優良事例の共有

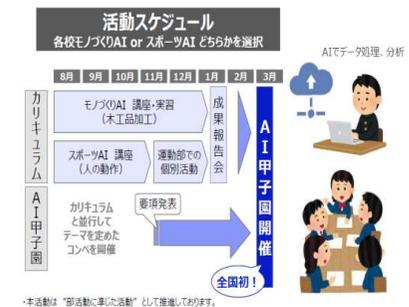
『Yamagata 幸せデジタル化構想』 県・市町村

<調整中>

③教育・研究のデジタル化

デジタル技術による教育環境を整備し、場所にとらわれない、すべての子ども一人ひとりに最もふさわしい創造性を育む新たな学びを実現
また、未来のデジタル人材を育成する学びの場を積極的に創出

- ✓ デジタルを活用した質の高い教育の推進
(オンライン教育、習熟度に応じた学習支援等の推進)
- ✓ 学校での児童・生徒のデジタル活用能力を育成
するための学習環境の整備
(AI・IoTの社会的な意義や役割、活用事例等の学習)
- ✓ 先進的研究の支援・促進



<やまがたAI部>
やまがたの未来を創る
人材育成の一環としての
AI教育プログラム
R2年度スタート

『Yamagata 幸せデジタル化構想』 暮らし

<調整中>

①子どもから高齢者までデジタル化の利便性を享受

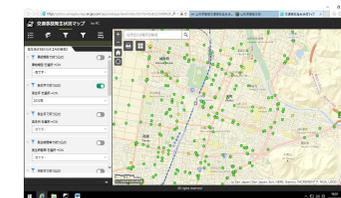
災害等の予防から復旧・復興までの的確な情報の収集・発信や迅速な対応、
個々人に応じた医療・福祉サービスの提供などによる、生活の安全・安心の確保

<安全・安心>

- ✓ デジタル活用でより良い医療・福祉の体制構築
(オンライン診療の拡大、見守り機器の導入)
- ✓ 交通事故防止に向けたデジタル技術の活用
(地理情報システム(GIS)を活用し、交通事故情報を分かりやすく提供、
新交通管理システム(UTMS)を利用した安全・円滑な交通環境の構築)
- ✓ 災害時にドローン等を活用して、迅速な現場確認
- ✓ Webやアプリによる防災情報の迅速な発信



<睡眠見守りシステム>
〔センターによる入床・入眠・離床の
モニタリングシステム〕
「福工連携による安心介護モデル創出事業」



<交通事故発生情報マップ>
〔地理情報システム(GIS)を活用し
交通事故情報を分かりやすく提供〕
県警特設サイト「交通事故発生状況マップ」

『Yamagata 幸せデジタル化構想』 暮らし

<調整中>

①子どもから高齢者までデジタル化の利便性を享受（続き）

地域で生じている買物や地域交通、子育てなどにおける様々な課題に対して、「アナログ」と「デジタル」を柔軟に組み合わせた新たなサービスなどを提供し、県民の皆様の暮らしの快適性・利便性を向上

<利便性向上>

- ✓ 地域公共交通の利便性向上
(地域公共交通情報のオープンデータ化、路線バス等へのICカード導入)
- ✓ 地域の買物支援
(スマホ等を活用した地域住民と商店等を結ぶ買物サービスの提供)
- ✓ **社会全体に対する**子育てに関する情報提供



<交通系ICカード導入支援>
{ 地域生活交通事業者・
路線維持対策事業 }
R2年9月補正予算

『Yamagata 幸せデジタル化構想』

<調整中>

暮らし

②地域の魅力と交流人口の拡大・イノベーションの創出

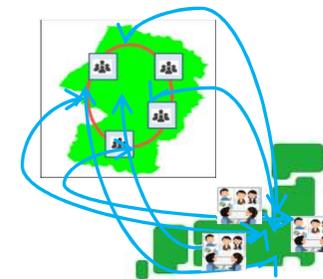
働き方、暮らし方の変革に対応しながら、交流人口の拡大を図り、またイノベーションを創出するための社会基盤・環境を整備

<ワークライフバランスと多様な働き方の浸透>

- ✓ ネット環境の強化によるテレワーク環境整備
(市街地の利便性向上)
- ✓ ワーケーション、シェアオフィスの展開による地域の活性化
(へき地・離島等の活性化)

<交流人口の拡大>

- ✓ 県外転出者を対象とした関係人口の拡大
(SNSや特設サイト等の多様な情報発信により、県産品の販路拡大、観光誘客、UIターン就職等も含めた多面的な効果につなげる)
- ✓ 県内コワーキングスペースネットワークと首都圏等のネットワーク形成



〔オンラインによる首都圏とのネットワーク形成事業
R2年9月補正予算〕

『Yamagata 幸せデジタル化構想』

<調整中>

仕事

①経営・生産の効率化

労働力不足の解消、生産性や品質・サービスの向上、技術の継承、ノウハウの共有による、高い付加価値を創出する農林水産業、ものづくり産業、建設関係産業及びサービス産業の実現

✓ クラウド監視カメラや衛星データ、ドローン等による農地・林地管理
(スマート農業技術の導入による収益性の向上)

✓ IoTやロボット、AI活用による製造業の高度化
(工業技術センターの更なる活用)

✓ 介護ロボット導入等による負担軽減

✓ 熟練者の技術・ノウハウのデータ化による継承、他地域との連携

✓ ASP(クラウドで活用できるアプリ)をフルに活用した公共事業の受発注者の働き方の改革 (公共工事におけるクラウドを活用した測量・設計データ等の共有推進)



衛星画像を利用した水稻生育診断



<農業用ドローン>
やまがたスマート農業普及推進事業



協働ロボットモデル生産ライン

『Yamagata 幸せデジタル化構想』

<調整中>

仕事

②「攻めのデジタル化」による売上UPとブランド強化

IoT等の導入による新たな商品・サービスの創出促進や、インターネットを活用した情報発信の展開など、積極的なデジタル化への投資により、県内産業の収益力向上やマーケットの拡大を実現

- ✓ 先端産業分野におけるデジタルを活用した有望な新製品の開発の促進
- ✓ 県産品の通信販売サイトの創設支援（県産品の販路拡大）
- ✓ SNS等の活用による県内農林水産物や工業製品のPR強化
（オンライン商談の推進、SNS等での情報発信による効果的な認知度向上、販路拡大）



<オンライン等での情報発信>
〔 届けよう山形の魅力
プロジェクト事業 〕



<IoTイノベーションセンターの活用>
〔 国際規格準拠の電磁波測定機器や
高精度分析機器等により新製品の
不具合解析・試作品評価などを支援 〕

『Yamagata 幸せデジタル化構想』

<調整中>

仕事

③デジタル化による観光産業の振興

国内外からの観光誘客の増大と観光消費の拡大に向けた、デジタル技術の活用による新しい時代の観光産業づくり

- ✓ 動画等を用いて本県の魅力を国内外に効果的(タイムリー・ダイレクト)に発信
- ✓ 地域シーズのプロモーションにおいて、各市場のニーズに合わせた情報発信
- ✓ 外国人目線での情報発信
(県内に住む外国人材の活用等)
- ✓ 観光客のデータ分析による魅力ある旅行商品企画等の提供
- ✓ 海外の現地旅行会社・メディアとのリモート商談
(商品造成・魅力発信)



<SNS等での情報発信>
〔山形の魅力を国内外に効果的・積極的に発信〕

『Yamagata 幸せデジタル化構想』

<調整中>

仕事

④デジタル人材の育成・活用

IoT、AI等の利活用のためのスキルやマインドを持つ人材、及びデジタル化の実装やデータ分析等の専門的な技能を有する実践的な人材の育成
また、デジタル人材が働きやすい環境づくりの推進

✓ フリーランス人材の活用

(県内企業における兼業・副業の活用のための人材マッチング支援等)

✓ 現場でデジタル化に取り組む実践的な人材の育成

(県内のあらゆる分野の様々な現場で、ビッグデータやAI、IoT、ロボットなどを現場で活用できる実践的な人材を育成する)



<産業技術短期大学校における実践的な人材育成>
〔工場等の自動化生産工程に用いるAIについて研究〕



<実践人材育成専門講座の開催>
〔IoT、AI等を現場で活用できる実践的な人材育成のための講座を開催〕

『Yamagata 幸せデジタル化構想』

<調整中>

余暇

デジタル化による新しい生き方と楽しみの創出

デジタル技術の利活用を促進し、多様な働き方、生き方が可能となる社会の基盤づくり

また、県内の自然・文化・スポーツ等に積極的にインターネットを活用し、より身近なものとして、感動・楽しみを多くの人と共有できる場を創出

- ✓ リモートワーク、ワーケーション等の展開によるワークライフバランスの実現
- ✓ 自然・文化・スポーツ等に触れ易く、県内外の多くの人と共有できる環境整備の推進
(県立図書館所蔵貴重資料のデジタル化による公開、eスポーツの推進等)
- ✓ リアルとオンラインの組合せによる、それぞれの付加価値向上
(プロオーケストラ演奏会、ストリートピアノのパフォーマンス、美術館・博物館企画展等のオンライン配信、「島ターンオンライン」の開催等)



<島ターンオンライン>
オンラインによる地域活性化、
交流人口の拡大、移住定住促進
に向けた取り組み